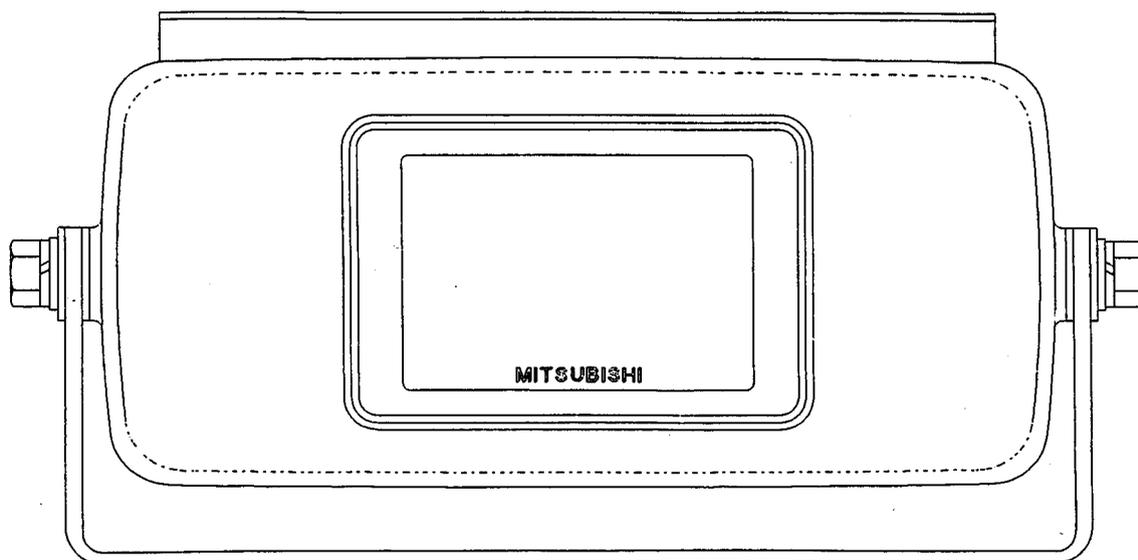


MITSUBISHI

屋外小型カラーカメラ
形名CIT-741/743
取扱説明書／保証書
(工事要領書を含む)



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

U871F105001A
SM-Y7422A

[もくじ]

安全のために必ずお守りください	3
特長	6
構成	7
各部の名称	7
カメラの設定	8
設定項目詳細説明目次	8
[逆光補正用測光枠について]	14
[フリッカーについて]	16
[ホワイトバランスについて]	21
[対応照明の選択「LIGHT」について]	21
[高速シャッターについて]	24
[明るさの目安について]	27
[文字表示機能について]	31
接続のしかた	32
お手入れのしかた	33
故障かな?と思ったら	33
保証とアフターサービス	33
仕様	34
外形図	35
据付工事について	36
安全のために必ず守ること	36
据付場所の選定	37
同軸ケーブルの接続方法	38
標準据付工事方法	39
ケーブルの防水処理について	41
標準据付工事後の確認	42

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

万一異常が発生したら、電源ユニットの電源をすぐ切る！



映像が出ない、煙、変な音においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。

このようなときはすぐにカメラコントロールなど（電源ユニット、カメラコントロール、マルチメディアコントロールなど）の電源スイッチを切り、その後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。

強度が十分なところに取付ける



ぐらついた台の上や傾いた所、弱い壁面、天井などの不安定な場所に取付けないこと。またバランス良く取付けること。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。取付けは販売店にご依頼を。

ケースははずさない。改造しない



本機の内部にさわったり、改造すると火災の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。

指定の電源ユニットを使用する



指定のカメラコントロールなど（電源ユニット、カメラコントロール、マルチメディアコントロールなど）以外で使用すると、火災の原因となります。詳しくは本機の取扱説明書をご覧ください。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

次のような置きかたはしない

火災・感電の原因となることがあります。

- 風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く、布などをかけて通風孔をふさぐ。
- 熱器具のそばに置く。



重い物をのせない、踏み台にしない

本機の上に重い物を置かないこと。置くとバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えるとこわれたりしてけがの原因となることがあります。

特にお子さまにはご注意ください。



同軸ケーブルを傷つけたり、加工しない

重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。ケーブルが破損します。

ケーブルに傷がついたまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となることがあります。

ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡を。



移動させる場合は外部の接続線はずす

同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。



2年に1度は内部のお掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災・故障を防ぎます。

特に梅雨期の前に行うのが効果的です。

内部掃除費用については販売店にご相談ください。



長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ずカメラコントローラなど（電源工外、カメラコントローラ、マルチメディアコントローラなど）の電源プラグをコンセントから抜いてください。



国外での使用禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。

This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.



車載用機器ではありません

衝撃、振動のある所に設置すると故障の原因となります。

例) 車両、船舶、航空機、機関室、工事用機械など。



お願い

<p>持ち運びはていねいに 本機はこわれやすいので持ち運びには十分に注意して行ってください。</p>	<p>キャビネットのお手入れは お手入れの際はカメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチカメラコントローラなど）の電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。</p>
<p>ケースを傷めないために ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。 【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】</p>	<p>前面ガラスのお手入れは ほこりや汚れが付着した場合は、ガラス表面にキズが付かないように拭き取ってください。</p>
<p>使用温度範囲でご使用を 本機の使用周囲温度は-10℃～+50℃です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。</p>	<p>カメラを太陽に向けないで カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないでください。</p>
<p>強い光を映さないで 映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア（縦縞）やブルーミングを生じることがありますのでさけてください。 強い光により画面にスミア（縦縞）やブルーミングは生じますが故障ではありません。</p>	<p>ケーブルは最大延長距離以内で カメラとカメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチカメラコントローラなど）間は5C-2Vで最長500m以内で接続してください。500mを超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワイドラインを通じての制御（除く、電源ユニット）が行えなくなります。 カメラとカメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチカメラコントローラなど）間には、他の機器を接続しないてください。通信ができなくなります。</p>

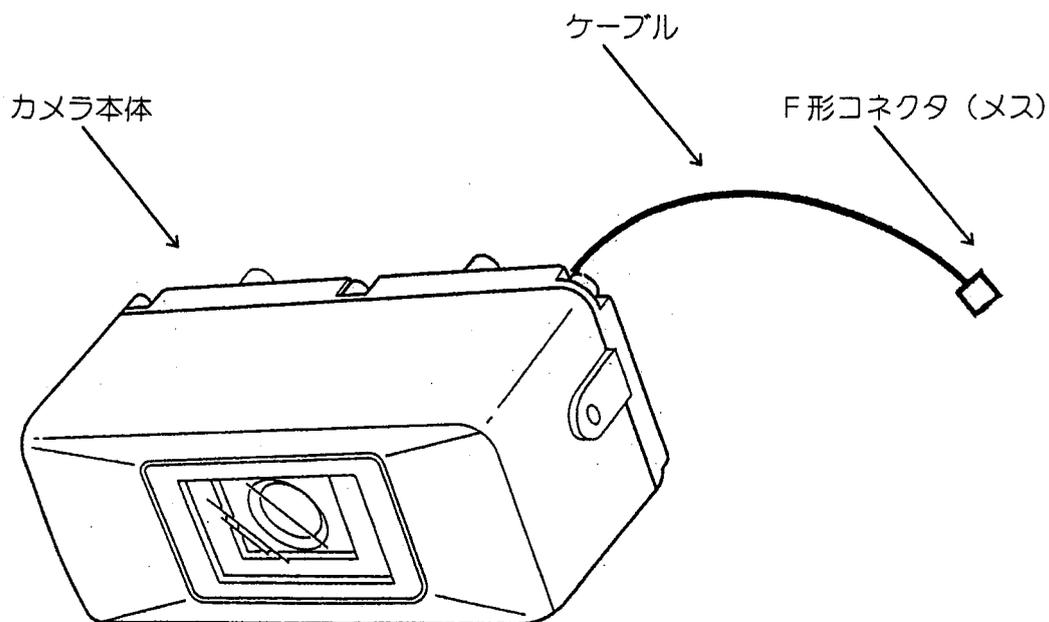
特長

- 優れた防水性、耐塵性
防噴流構造で強固な筐体により、屋外環境における優れた耐水性及び耐塵性（JIS C 0920 IP65）を実現しています。
- 高解像度、高画質
有効画素数約 38 万画素（水平 768×垂直 492）採用により、水平解像度 470 本以上の鮮明な映像が得られます。
- 高感度
標準時（1/60 秒、F1.85）において CIT-741 では 2[lx]、CIT-743 では 1[lx]の最低被写体照度を実現しています。更に、自動電子増感時（CIT-743 のみ）には、最大 32 倍までの感度を自動に変更して適正な露出を得ることができ、0.03[lx]（32 倍）まで感度アップできます。
- エリア選択可能逆光補正機能
CIT-741/743 では画面上で 15（水平）×15（垂直）マスから逆光補正したいエリアを選択して、見たい所を鮮明に映し出します。
- 高機能なのに省線化
カメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ）と接続することにより、同軸ケーブル 1 本で映像信号、電源を供給することが可能です。またカメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ、除く、電源ユニット）からはカメラの各設定のリモートコントロールが可能です。
- オートホワイトバランス機能
CPU 制御によるオートホワイトバランスにより安定した色再現性が得られます。またホワイトバランスの微補正設定機能や水銀灯などに対する自動色補正機能があります。
- 文字表示機能
12 桁のカメラ ID 表示機能を装備しています。表示位置の選択（6ヶ所）も可能です。
- 外部同期方式
カメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ、除く、電源ユニット）を使用すると、外部同期に自動的に切り換わります。また、外部同期信号と映像出力信号の位相を微調節することができます。
- 電子シャッター機能
高速で移動する被写体を鮮明にとらえるために、シャッタースピードを 1/60～1/10000 秒の 8 段階に切り換えられる電子シャッターを装備しています。

構成

1. CIT-741/743形カメラ本体 ----- 1
2. 付属品
 - (1)取付金具----- 1
 - (2)M5×20 セムス六角ボルト----- 3 (取付側)
 - (3)M5×12 セムス六角ボルト----- 2 (カメラ側)
 - (4)M5用ナット----- 3 (取付側)
 - (5)M5用平座金----- 3 (取付側)
 - (6)絶縁ブッシュ----- (オス、メス)2式(カメラ側)
 - (7)同軸コネクタ (3C-2V用) ----- 2
 - (8)同軸コネクタ (5C-2V用) ----- 2
 - (9)M4×20 六角ボルト----- 4 (取付側)
 - (10)M4用ナット----- 4 (取付側)
 - (11)M4用平ワッシャー----- 4 (取付側)
 - (12)M4用スプリングワッシャー----- 4 (取付側)
 - (13)左右角度調整用UNC 1/4 ネジ----- 1 (取付側)
 - (14)UNC 1/4用スプリングワッシャー----- 1 (取付側)
 - (15)カメラ固定用ホルダー----- 1 (取付側)
3. 取扱説明書/据付工事説明書/保証書(本書) ----- 1

各部の名称

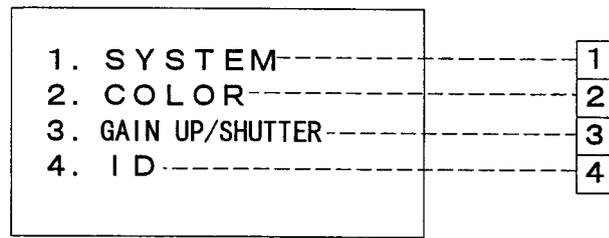


カメラの設定

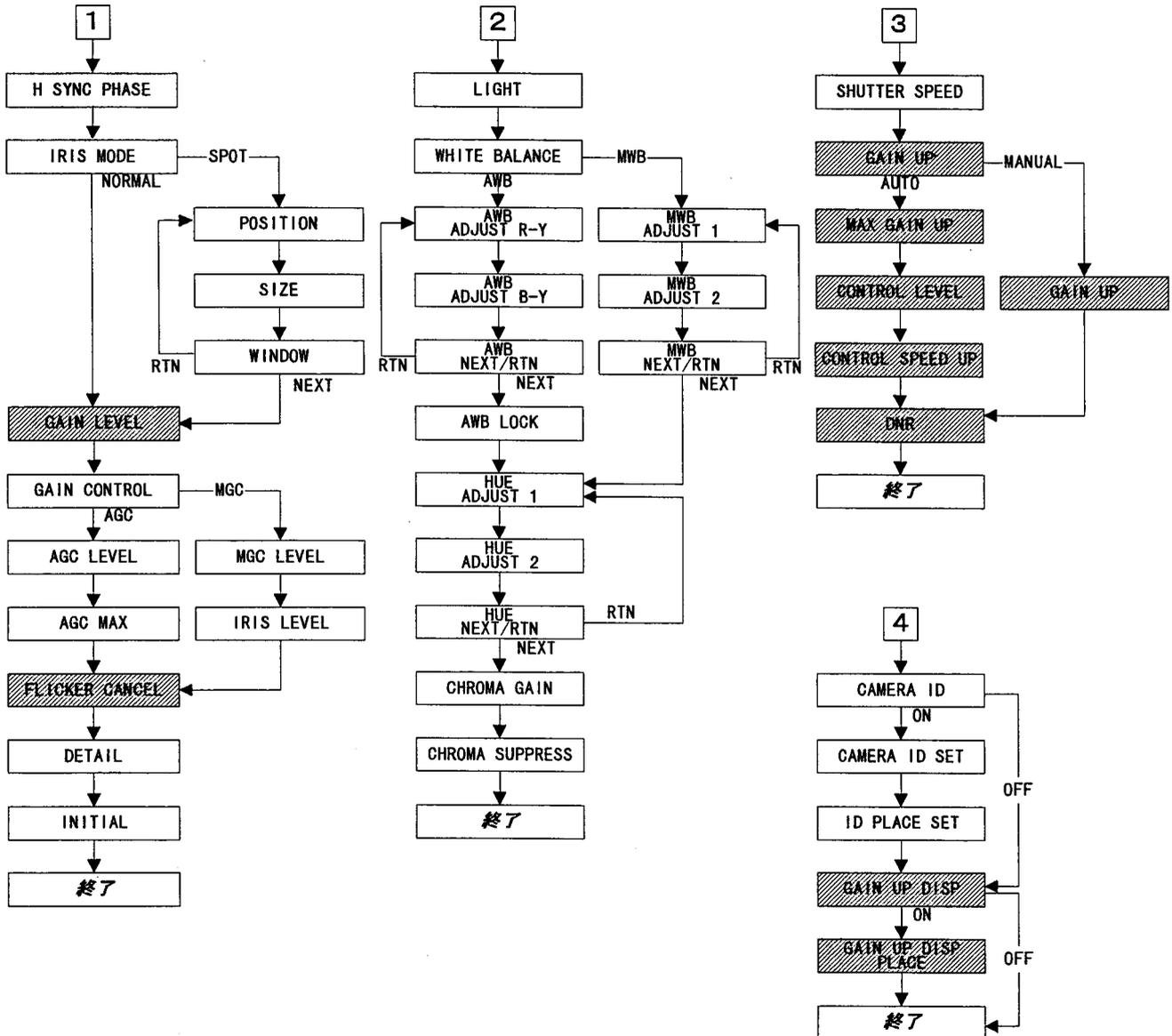
- 設定メニューは右図に示すような構成になっています。各設定項目の説明は下記目次より選択して各説明ページを参照してください。

設定項目詳細説明目次	ページ
設定アイテムの選択 (ADJ ITEM)	11
1. SYSTEM	
同期位相の設定 (H SYNC PHASE)	11
逆光補正の選択 (IRIS MODE)	12
逆光補正用測光枠の位置設定 (POSITION)	12
逆光補正用測光枠のサイズ設定 (SIZE)	13
ゲインレベルの選択 (GAIN LEVEL)	14
ゲインコントロールの選択 (GAIN CONTROL)	15
AGCレベルの設定 (AGC 選択時) (AGC LEVEL)	15
AGC 最大ゲインレベルの設定 (AGC 選択時) (AGC MAX)	15
フリッカ補正機能の選択 (FLICKER CANCEL)	16
MGCレベルの設定 (MGC 選択時) (MGC LEVEL)	17
アイリスの設定 (MGC 選択時) (IRIS LEVEL)	17
ディテイルの設定 (DETAIL)	17
イニシャルの選択 (INITIAL)	18
2. COLOR	
対応照明の選択 (LIGHT)	18
ホワイトバランスの選択 (WHITE BALANCE)	18
マニュアルホワイトバランスの設定 (マニュアル選択時) (MWB ADJUST)	19
オートホワイトバランスの微補正 (オート選択時) (AWB ADJUST)	20
ホワイトバランスロックの選択 (オート選択時) (AWB LOCK)	20
色相の設定 (HUE ADJUST)	22
クロマゲインの設定 (CHROMA GAIN)	22
クロマサプレスの選択 (CHROMA SUPPRESS)	23
3. GAIN UP (SHUTTER)	
増感選択またはシャッター速度の設定 (SHUTTER SPEED)	23
電子増感モードの選択 (GAIN UP)	25
自動電子増感最大倍率の設定 (オート選択時) (MAX GAIN UP)	25
自動電子増感制御レベルの設定 (オート選択時) (CONTROL LEVEL)	25
自動電子増感制御速度の選択 (オート選択時) (CONTROL SPEED UP)	26
手動電子増感倍率の設定 (マニュアル選択時) (GAIN UP (MANU))	28
デジタルノイズリダクションの選択 (DNR)	28
4. ID	
カメラID表示の選択 (CAMERA ID)	29
カメラIDの設定 (ID表示選択時) (CAMERA ID SET)	29
カメラID表示位置の選択 (ID表示選択時) (ID PLACE SET)	30
電子増感倍率表示の選択 (増感選択時) (GAIN UP DISP)	30
電子増感倍率表示位置の設定 (増感および増感表示選択時) (GAIN UP DISP PLACE)	31

■ 設定項目フローチャート



注)  はCIT-743のみ



注：カメラコントローラのモード、アップ、ダウンスイッチの入力が約1分間無ければ自動的に設定メニューは終了します。このとき表示されていた画面の設定は記憶されません。記憶させる場合はモードスイッチを押してください。

- CIT-741/743 ではカメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）を使用してカメラの各種機能を設定・変更することができます。設定状態は画面に表示されますので画面を見ながら行ってください。
- 電源投入時は ID 表示（ID 表示 ON 設定時）が画面にインポーズされます。電源投入後、モードスイッチを押すと設定メニューが立ち上がります。設定内容は次の設定画面に移るとき不揮発性メモリに記憶されます。
- 工場出荷時には以下の様に設定されています。

同期位相	:0
逆光補正の選択	:NORMAL
POSITION	:3
	:2
SIZE	:9
	:11
ゲインレベル	: 0 dB (CIT-743 のみ)
AGC/MGC	:AGC
AGCレベル	:標準設定 (表示中央)
AGC 最大ゲインレベル	:標準設定 (表示中央)
MGCレベル	:標準設定 (表示中央)
アリスレベル	:標準設定 (表示中央)
フリッカ キャンセル	:OFF (CIT-743 のみ)
ディテイル	:標準設定 (表示中央)
イニシヤル	:NO

照明選択	:ELECTRIC
ホワイトバランス	:AUTO (自動追従)
AWB ADJUST R-Y	:標準設定 (表示中央)
AWB ADJUST B-Y	:標準設定 (表示中央)
AWB LOCK	:AUTO (自動追従)
MWB ADJUST 1	:標準設定 (表示中央)
MWB ADJUST 2	:標準設定 (表示中央)
HUE ADJUST 1	:標準設定 (表示中央)
HUE ADJUST 2	:標準設定 (表示中央)
クロマゲイン	:標準設定 (表示中央)
クロマサプレス	:HIGH(色ノイズ低減)

シャッター速度/増感	:1/60
電子増感モード	:AUTO (自動モード)
自動増感最大倍率	:× 16 倍
増感制御レベル	:M (標準)
制御速度アップ	:OFF
手動増感倍率	:× 1 倍
デジタルノイズリダクション	:AUTO

CIT-743 のみ

カメラ ID 表示	:OFF (非表示)
カメラ ID 設定	:000000000000
カメラ ID 表示位置	:下部中央
増感倍率表示	:OFF (非表示)
増感倍率表示位置	:下部右

CIT-743 のみ

設定アイテムの選択

- モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の選択されているアイテムの番号が点滅します。

CIT-743の場合	CIT-741の場合
ADJ ITEM	ADJ ITEM
1. SYSTEM	1. SYSTEM
2. COLOR	2. COLOR
3. GAIN UP	3. SHUTTER
4. ID	4. ID

- アップ、ダウンスイッチでアイテムを選択後、モードスイッチ入力によりアイテム内部の各設定モードに入ります。

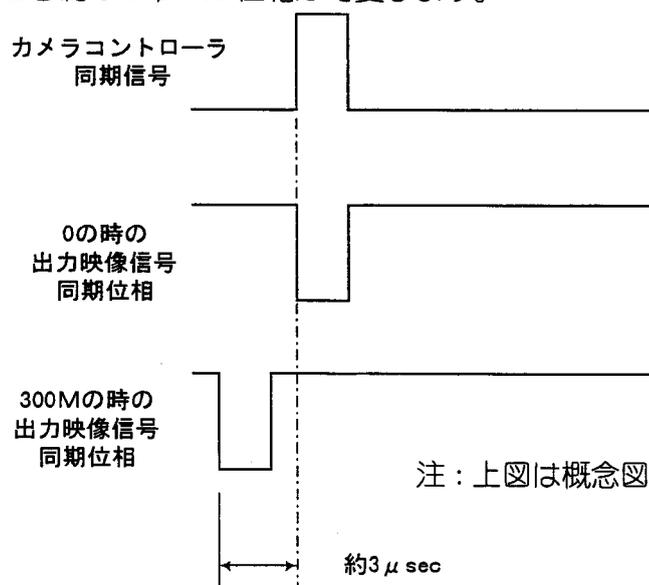
同期位相の設定

- ADJ ITEM 画面で 1. SYSTEM が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

H SYNC PHASE

*****M

- *****の位置に 0~1200 の数字が表示されます。0 の時、カメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）からの外部同期信号に対し出力映像信号の同期位相がほぼ一致し、数字が増える方向では位相が進みます。
- カメラ~カメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）間の接続距離と同じ距離数に設定してください。（例）接続距離 = 500 m : 500[M] を設定。接続距離 = 300 m : 300[M] を設定。
- 50[M]につき約 0.5 μ sec 位相が可変します。



注：上図は概念図であり、実際の波形とは異なります。

逆光補正の選択

- H SYNC PHASE 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定を示すモードの番号が点滅します。

IRIS MODE

1. NORMAL
2. SPOT

NORMAL : 標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。

SPOT : 逆光条件、過順光の時に使用します。逆光補正用測光枠内の光量に重点を置きアイリス、AGC 等が制御されます。

- 通常は NORMAL でご使用ください。撮像条件が逆光、過順光の場合は SPOT を選択して下さい。
- SPOT 選択時は逆光補正用測光枠内の光量に重点を置きアイリスおよび AGC の制御を行っていますので対象となる被写体が逆光補正用測光枠に十分な大きさでない場合は十分な補正ができない場合があります。
- NORMAL を選択した時には逆光補正用測光枠の設定はパスされます。

逆光補正用測光枠の位置設定

- IRIS MODE 画面で SPOT 選択 (SPOT が点滅) の時モードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。また、画面上に測光枠が明るく表示されます。

POSITION

LEFT	*1	RIGHT
UP	*2	DOWN

- *1 と *2 には、それぞれ数字が表示され、測光枠の左上角の水平と垂直を表します。この設定によって画面上の測光枠も移動します。
- 逆光補正用測光枠の左上角の位置を設定します。
- *1 (水平位置) 点滅時にアップスイッチを 1 回押すと測光枠の左上角の位置が右へ 1 マス移動します。
- *1 (水平位置) 点滅時にダウンスイッチを 1 回押すと測光枠の左上角の位置が左へ 1 マス移動します。
- *1 (水平位置) 点滅時にモードスイッチを 1 回押すと *2 (垂直位置) 設定モードになり、*2 が点滅します。
- *2 (垂直位置) 点滅時にアップスイッチを 1 回押すと測光枠の左上角の位置が下へ 1 マス移動します。
- *2 (垂直位置) 点滅時にダウンスイッチを 1 回押すと測光枠の左上角の位置が上へ 1 マス移動します。

逆光補正用測光枠のサイズ設定

- POSITION 画面で*2 が点滅の時モードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。また、画面上に測光枠が明るく表示されます。

SIZE

LEFT	*1	RIGHT
UP	*2	DOWN

- *1と*2には、それぞれ数字が表示され、測光枠の水平と垂直のサイズを表します。この設定によって画面上の測光枠のサイズも変化します。設定が画面からはみ出す場合には、*1、*2の数字だけがかわります。
- 逆光補正用測光枠のサイズを設定します
- *1（水平サイズ）点滅時にアップスイッチを1回押すと測光枠の右下角の位置が右へ移動して1マス大きくなります。
- *1（水平サイズ）点滅時にダウンスイッチを1回押すと測光枠の右下角の位置が左へ移動して1マス小さくなります。
- *1（水平サイズ）点滅時にモードスイッチを1回押すと*2（垂直サイズ）設定モードになり、*2が点滅します。
- *2（垂直サイズ）点滅時にアップスイッチを1回押すと測光枠の右下角の位置が下へ移動して1マス大きくなります。
- *2（垂直サイズ）点滅時にダウンスイッチを1回押すと測光枠の右下角の位置が上へ移動して1マス小さくなります。
- SIZE 画面で*2 が点滅の時モードスイッチを押すと、下記画面が表示されます。

WINDOW

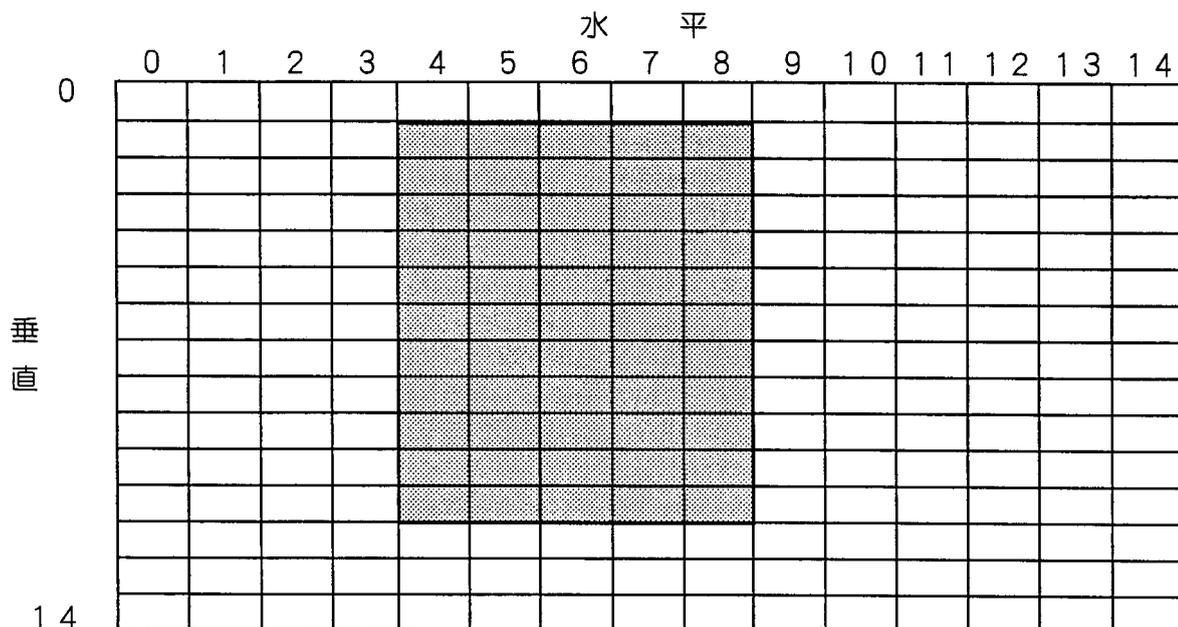
NEXT	RTN
------	-----

- RTNを選択（RTNを点滅させ、モードスイッチを押す）すると逆光補正用測光枠の位置設定にもどります。

[逆光補正用測光枠について]

- 逆光補正用の測光枠は画面上で分割されたマスの中でエリアを設定することができます。設定メニュー「POSITION」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を、「SIZE」では測光枠の右下角を移動して大きさを設定します。15（垂直）×15（水平）マスの中からエリアを選択することができます。

※測光枠設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）



設定エリア :  （画面上では明るく表示されます。）
設定値 : 位置設定（水平、垂直） = （4、1）
サイズ設定（水平、垂直） = （5、11）

ゲインレベルの選択

- IRIS MODE 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定を示すモードの番号が点滅します。

G A I N L E V E L

1. 0 DB
2. +6 DB

- 高感度の必要な場合は+6DBで使用してください。AGCを選択している場合、被写体が明るいときは画面の明るさを自動的に検知し、最適なゲインレベルに切り換えます。
- MGC を選択している場合、0DBを選択すると通常の画面の明るさになります。+6DBを選択すると画面が明るくなります。
- レンズアイリスレベルを設定する場合には0DBを選択してください。

ゲインコントロールの選択

- IRIS MODE 画面で NOMAL 選択時または WINDOW 画面で NEXT 選択時、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定されているモードの表示が点滅します。

G A I N C O N T R O L

A G C M G C

- 通常は AGC（オートゲインコントロール）で使用してください。レンズアイリスレベルを設定する場合は MGC（マニュアルゲインコントロール）を設定してください。
- AGC を選択した時は次の MGC 設定、アイリス設定はパスされます。
- MGC を選択すると AGC レベル設定はパスされます。

AGC レベルの設定

- GAIN CONT 画面で AGC が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

A G C L E V E L

L <<<<<<< ↓ >>>>>>> H

- ↓ の位置が現在設定値を示します。中央位置が標準設定位置になっています。
- アップスイッチを押すと ↓ は H 側に動き画面が明るくなります。
- ダウンスイッチを押すと ↓ は L 側に動き画面が暗くなります。
- 設定レベルの不足のときには、レンズアイリスレベルで設定してください。
- 映像の中、低照度の部分では擬似輪郭が見えることがあります。

AGC 最大ゲインレベルの設定

- AGC LEVEL 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

A G C M A X

L <<<<<<< ↓ >>>>>>> H

- ↓ の位置が現在設定値を示します。中央位置が標準設定位置になっています。
- H 側で感度は高くなり、L 側で低くなります。感度の高いときには、ノイズが増えます。

フリッカ補正機能の選択 (C I T - 7 4 3 のみ)

- IRIS LEVEL 画面または AGC MAX 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され現在の設定を示すモードが点滅します。

FLICKER CANCEL

ON OFF

- 本画面で ON を選択することによりフリッカキャンセル機能を使用することができます。
- 本機のフリッカキャンセル機能は 1/100 秒シャッターで動作するため、感度が 1/60 秒シャッターに比べ約半分に低下しますのでご注意ください。
- 本画面で ON を選択し、増感選択またはシャッター速度の設定 (P23) にてシャッタースピードを変更した場合はフリッカキャンセルは強制的に OFF に変更されます。

[フリッカについて]

フリッカ (ちらつき) は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や高周波点灯照明下および白熱照明下では発生しません。

フリッカの現象は電源周波数とシャッター速度により下記のように異なります。

- ◆ 60Hz 電源地区での場合
 1. 1/60 秒シャッター
電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
 2. 高速シャッターの場合
ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッター速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。
- ◆ 50Hz 電源地区での場合
 1. 1/60 秒シャッター
約 20Hz 周期のフリッカが発生します。
 2. 1/100 秒シャッター
フリッカは発生しません。1/60 秒シャッターに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
 3. 1/250 秒以上の高速シャッター
かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッターが必要な場合には自然光または高周波点灯および白熱点灯照明をご使用ください。

MGCレベルの設定

- GAIN CONT 画面でMGCが点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

MGC LEVEL

L <<<<<<< ↓ >>>>>>> H

- ↓の位置が現在設定値を示します。中央位置が標準設定位置になっています。
- アップ、ダウンスイッチを操作することで、マニュアルゲインコントロールが行えます。
- アップスイッチを押すと↓はH側に動き画面が明るくなります。
- ダウンスイッチを押すと↓はL側に動き画面が暗くなります。
- 映像の中、低照度の部分では擬似輪郭が見えることがあります。

アイリスの設定

- 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

IRIS LEVEL

L <<<<<<< ↓ >>>>>>> H

- ↓の位置が現在設定値を示します。中央位置が標準設定位置になっています。
- アップ、ダウンスイッチを操作することで、アイリスレベルが制御できます。

注. 本設定後は特にMGCでの動作の必要がない限り、AGCに設定を戻してください。MGCのままですと必要な感度が得られない場合があります。また、IRIS LEVEL設定がLかHに極端に片寄ると、被写体によっては、アイリスが開かなかつたり、映像がハジクを起こす場合があります。急激に光量に変化した時には、アイリスが追従して映像が見えるまでに数秒程度時間がかかります。

ディテイルの設定

- AGC MAX 画面または IRIS LEVEL 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

DETAIL

L <<<<<<< ↓ >>>>>>> H

- ↓の位置が現在設定値を示します。L方向で画面がソフトになり、H方向で画面がシャープになります。
- AGC動作中、十分な被写体の明るさが得られていない場合には自動的に画面がソフトになる制御をしています。このときにH方向に設定しても画面がシャープにならない場合がありますが、設定値は記憶されていますので十分な明るさのときにはシャープな画面が得られます。

イニシャルの選択

- DETAIL の画面で、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定モードの表示が点滅します。

I N I T I A L
Y E S N O

- YES を選択するとカメラ設定の全ての項目は工場出荷時の設定に変わります。(P 1 0 参照)
- 通常は NO が点滅(選択)されております。必要のない場合は本画面が表示されたらモードスイッチを押下してください。
- INITIAL 画面でモードスイッチを押すと、通常の画面に戻ります。

対応照明の選択

- ADJ ITEM 画面で、2. COLOR をアップ、ダウンスイッチで選択し、点滅させ、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在のモードの番号が点滅します。

L I G H T
1. N A T U R A L
2. E L E C T R I C

N A T U R A L : 自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯
E L E C T R I C : 上記に加え、水銀灯などまで引き込み範囲を拡大するとともに、色調の補正を行います。

- オートホワイトバランスの引き込み範囲を照明光源の種類により選択でき、色再現性を改善できます。(21ページ参照)

ホワイトバランスモードの選択

- LIGHT 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在のモードの表示が点滅します。

W H I T E B A L A N C E
A U T O M A N U

A U T O : オートホワイトバランス
M A N U : マニュアルホワイトバランス

- AUTO を選択すると次の調節アイテムはオートホワイトバランスの微調節になります。
- MANU を選択すると次の調節アイテムはマニュアルホワイトバランスの設定になります。
- LOCK が選択されている場合(21ページ参照)はこのモード選択および各ホワイトバランスの設定はパスされます。

マニュアルホワイトバランスの設定

- WHITE BALANCE 画面で MANU が点滅している時モードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

M W B
ADJUST 1

B<<<<<<<↓>>>>>>>R

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- B方向で画面が青くなり、R方向で赤くなります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

M W B
ADJUST 2

M<<<<<<<↓>>>>>>>G

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- M方向で画面がマゼンタ方向に、G方向でグリーン方向に色調が変わります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

M W B
NEXT RTN

- RTNを選択(RTNを点滅させ、モードスイッチを押す)すると、再度マニュアルホワイトバランスの設定に戻ります。

オートホワイトバランスの微補正

- WHITE BALANCE 画面で、AUTO が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

AWB
ADJUST R-Y
CY<<<<<<<↓>>>>>>>R

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- R方向で画面が赤に、CY方向でシアンに色調が変わります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

AWB
ADJUST B-Y
Y<<<<<<<↓>>>>>>>B

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- B方向で画面が青くなり、Y方向で黄色くなります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

AWB
NEXT RTN

- RTNを選択(RTNを点滅させ、モードスイッチを押す)すると、再度オートホワイトバランスの設定に戻ります。

ホワイトバランスロックの選択

- オートホワイトバランス微補正の画面で、NEXT 点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定モードの表示が点滅します。

A W B
AUTO LOCK

- AUTOを選択するとホワイトバランスの自動追従モードとなります。
- LOCKを選択すると現在のホワイトバランスのパラメータが固定化されます。
- LOCKが選択されている場合は、ホワイトバランスモードの選択および各ホワイトバランスの設定のメニュー画面はパスされます。

[ホワイトバランスについて]

- ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。
 - [AUTO] : 連続自動追従調節（標準モード）
 - [LOCK] : 自動調節後、固定
 - [MANU] : 手動調節
- [AUTO] は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを自動追従調節します。自然光でなくとも通常の設定条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値を常に監視し、平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、[LOCK] を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- [LOCK] よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、[MANU] によりベクトルスコープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。

[対応照明の選択「LIGHT」について]

- [NATURAL] は自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯の照明下において最適なホワイトバランスが得られるようにオートホワイトバランスが動作します。引き込み範囲を制限していますので単一色の被写体でも退色現象が少なくなります。
- [ELECTRIC] では、NATURAL の引き込み範囲を水銀灯などまで拡大するとともに、光源の固有スペクトラムにより画面が黄色あるいは緑っぽくなる現象を補正するようにオートホワイトバランスが動作します。

色相の設定

- AWB LOCK 画面でモードスイッチを押すかまたは MWB(RTN/NEXT)画面で、NEXT が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

HUE
ADJUST 1

Y M
B<<<<<<<↓>>>>>>>G

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- Y/B 方向で赤色が黄色系に、シアンが青色系に色合いが変わります。
- M/G 方向で赤色がマゼンタ系に、シアンが緑色系に色合いが変わります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

HUE
ADJUST 2

R G
C Y<<<<<<<↓>>>>>>>M

- ↓の位置が現在の設定値を示します。
- R/CY 方向で黄色が赤色系に、青色がシアン系に色合いが変わります。
- G/M 方向で黄色が緑色系に、青色がマゼンタ系に色合いが変わります。

次の調節アイテム(モードスイッチを押す)で、下記の画面が表示されます。

HUE
NEXT RTN

- RTN を選択 (RTN を点滅させ、モードスイッチを押す) すると、再度色相の設定に戻ります。

クロマゲインの設定

- HUE(NEXT/RTN) 画面でNEXT が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

CHROMA GAIN

L<<<<<<<↓>>>>>>>H

- ↓の位置が現在設定値を示します。中央位置が標準設定位置になっています。
- アップスイッチを押すと↓はH側に動き色の濃さが濃くなります。
- ダウンスイッチを押すと↓はL側に動き色の濃さが薄くなります。

クロマサプレスの選択

- CHROMA GAIN 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定を示すモードの番号が点滅します。

CHROMA SUPPRESS

1. LOW
2. HIGH

- 低照度時等、感度が低下したとき色の濃さを自動的に薄くして、ノイズの低減を行います。
- 通常はHIGHで使用して下さい。
- CHROMA SUPPRESS 画面でモードスイッチを押すと、通常の画面に戻ります。

増感選択またはシャッター速度の設定

- ADJ ITEM 画面で、3. GAIN UP(CIT-743)、3. SHUTTER(CIT-741)をアップ、ダウンスイッチで選択し、点滅させ、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定を示すシャッター速度の番号が点滅します。

CIT-743の場合		CIT-741の場合	
SHUTTER SPEED		SHUTTER SPEED	
1. GAIN UP	6. 1/1000	1. 1/60	5. 1/1000
2. 1/60	7. 1/2000	2. 1/100	6. 1/2000
3. 1/100	8. 1/4000	3. 1/250	7. 1/4000
4. 1/250	9. 1/10000	4. 1/500	8. 1/10000
5. 1/500			

- GAIN UP は電子増感を行うモードです。(CIT-743のみ。1/60秒シャッター動作を含みます。)
- 自動または手動電子増感を行う場合は GAIN UP を選択してください。(CIT-743のみ)

[高速シャッターについて]

- 高速シャッターを使用する場合は下記の注意が必要です。
 - (1) シャッター速度が速くなるほど十分な光量を必要とします。(相対的な感度が低下します。)
 - (2) 50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、1/100 秒シャッターを選択するとフリッカは発生しません。
 - (3) 50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250 秒以上の高速シャッターは激しいフリッカを発生しますのでご注意ください。
 - (4) 高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッターで長期間使用することはお避けください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
 - (5) 60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッターを使用しますとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の变化が発生しますのでご注意ください。

[電子増感機能について] (CIT-743のみ)

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 秒以下の低速シャッター制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-743 では、下記の特徴があります。
 - (1) 電子増感機能
標準時(シャッタースピード 1/60 秒)に対して×1 倍から×32 倍まで自動または手動で感度アップを行うことができます。
ただし、フリッカキャンセルの設定が ON(シャッタースピード 1/100 秒)のときは倍率が当てはまりませんのでご注意ください。尚、自動電子増感の動作は、フリッカキャンセルの設定により下記のようになります。
 - ・フリッカキャンセルの設定が ON の場合
1/100 秒→×2 倍→……………→×32 倍→……………→×2 倍→1/100 秒
 - ・フリッカキャンセルの設定が OFF の場合
1/60 秒→×2 倍→……………→×32 倍→……………→×2 倍→1/60 秒
 - (2) 自動電子増感最大倍率の設定機能
自動電子増感の最大倍率を 1 倍から 32 倍まで任意に設定できますので、設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。
 - (3) 自動電子増感制御レベル設定機能
低速シャッターでは動く被写体に対するぶれが増大しますが、S/N・感度は改善されます。自動電子増感の制御レベルを 3 段階 (H,M,L) で設定することができます。標準設定 [M] では、動き・S/N の両面から自動増感を行います。[L] では、動きを優先して自動増感を行い、[H] では S/N を重視して自動増感を行います。

電子増感モードの選択 (C I T-743のみ)

- SHUTTER SPEED 画面で、1. GAIN UP が点滅中に、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され現在の設定を示すモードが点滅します。

G A I N U P

A U T O M A N U

- この項で AUTO を選択すると自動電子増感モードとなり、被写体の光量変化に対して増感倍率を自動的に変更して適正な露出を得ることができます。MANU を選択すると、手動増感モードとなり、最大 32 倍まで任意に倍率を設定 (固定) することができます。

自動電子増感最大倍率の設定 (C I T-743のみ)

- GAIN UP 画面で AUTO が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

M A X G A I N U P

X * *

- * * の位置に 1~32 の数字が表示されます。2 のときは最大増感倍率が 2 倍、16 のときは 16 倍であることを示します。それぞれ数字の示す倍率まで自動増感機能が動作します。
- 選択可能な倍率は 1, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 24, 32 です。

自動電子増感制御レベルの設定 (C I T-743のみ)

- MAX GAIN UP 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定制御レベルが点滅表示されます。

C O N T R O L L E V E L

H M L

- 標準設定 [M] では動き・S/N の両方から自動増感を行います。[L] では動きを重視して自動増感を行います。
- 動き優先では、自動電子増感が動作する被写体の明るさは標準設定 [M] よりも暗く、被写体の動きによるぶれが少なくなります。[H] では S/N を重視して自動電子増感を行います。
- S/N 優先では、自動電子増感が動作する被写体の明るさは標準 [M] よりも明るく、S/N の良い状態で被写体を監視することができます。
- 被写体の明るさと制御レベルによる自動電子増感倍率との関係は P27 の表を参照してください。

自動電子増感制御速度アップの設定 (C I T-743のみ)

- CONTROL LEVEL 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定制御レベルが点滅表示されます。

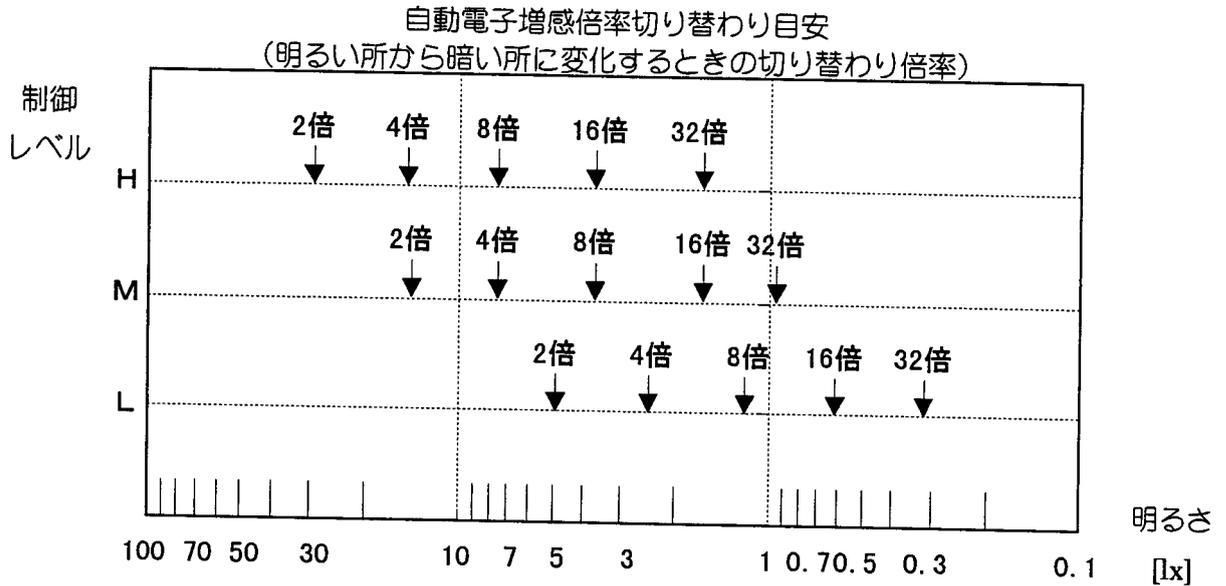
CONTROL SPEED UP

ON OFF

- 本画面は自動電子増感を行う場合にのみ有効です。
- ON を選択することにより、被写体の明るさが急激に変化したとき次の倍率へ高速で移行します。
- 被写体の明るさの変化の度合いにより、まれにハンチング現象を起こす場合があります。このような場合には、OFF にてご使用下さい。

[自動電子増感制御レベルと自動電子増感倍率について] (C I T-743のみ)

以下に明るさと自動電子増感制御レベル及び電子増感倍率との関係(倍率が切り替わる照度)の例を示します。この表は概略の目安としてご使用ください。レンズの明るさ、被写体、照明光源により異なってきます。(F1.4レンズ、レンズ開放制御レベルは自動電子増感制御レベルと同レベル、被写体はグレースケール、ハロゲンランプ照明にて測定)



[明るさの目安について]

以下に明るさのおよその目安を示します。

(ルクス)	
100,000	<ul style="list-style-type: none"> 晴天昼太陽光 (100,000ルクス)
10,000	<ul style="list-style-type: none"> 晴天午前10時太陽光 (65,000ルクス) 晴天午後3時太陽光 (35,000ルクス) 曇天昼太陽光 (32,000ルクス) 曇天午前10時太陽光 (25,000ルクス)
1,000	<ul style="list-style-type: none"> 曇天日の出1時間後太陽光 (2,000ルクス) 晴天日没1時間前太陽光 (1,000ルクス) パチンコ店内 (1,000ルクス) 百貨店売場 (500ルクス) 蛍光灯照明の事務所 (400~500ルクス) 30W蛍光灯2本使用の8畳間 (300ルクス)
100	<ul style="list-style-type: none"> 夜のアーケード (150~200ルクス)
10	<ul style="list-style-type: none"> ライターの明るさ (30cm離れた所) (15ルクス) ローソクの明るさ (20cm離れた所) (10~15ルクス)
1	<ul style="list-style-type: none"> 月明かりの風景 (0.5~1ルクス)

手動電子増感倍率の設定 (C I T-743のみ)

- GAIN UP 画面でMANUが点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。

GAIN UP
(MANU)

- **の位置に1~32の数字が表示されます。それぞれ数字の示す倍率で感度を設定(固定)できます。
- ×1は通常の1/60秒シャッター(増感オフ)で動作します
- 選択可能な倍率は1, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 24, 32です。

デジタルノイズリダクションの選択 (C I T-743のみ)

- GAIN UP 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在の設定を示すモードの番号が点滅します。

DNR

1. OFF
2. AUTO
3. LOW
4. MIDDLE
5. HIGH

通常はAUTOで使用してください。使用詳細は以下の[デジタルノイズリダクションについて]の項を参照し、最適の状態を設定してください。

[デジタルノイズリダクションについて] (C I T-743のみ)

- カメラ映像ノイズには固定パターンノイズとランダムノイズがあります。デジタルノイズリダクション(以下DNR)はデジタルメモリを用いた電子増感機能が動作するとき、ランダムノイズの低減を行います。レベルはLOW→MIDDLE→HIGHの順でランダムノイズの低減レベルが上がっていきます。AUTOはカメラが自動的に最適の低減レベルに調節いたします。
- DNR動作時は下記の注意が必要です。
 - (1) 動きのある被写体は低減レベルを上げるほど(HIGHにするほど)映像はぶれを生じます。
 - (2) 電子増感倍率が×2倍以上でないときはDNRは動作しません。

カメラID表示の選択

- ADJ ITEM 画面で、4. ID をアップ、ダウンスイッチで選択し、点滅させ、モードスイッチを押すと、下記の画面が表示され現在の設定モードが点滅します。

```
CAMERA ID
ON OFF
```

カメラIDの設定

- CAMERA ID 画面で ON が点滅中にモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、現在選択されているキャラクタ表のキャラクタ及び文字位置のキャラクタが点滅します。

```
CAMERA ID SET

アイウエオカキクケコサキシセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨワン
ラリルレロピプポビグズダデドユョツ年月日
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ■ → ← ↑
↓ ! ? / + cm & ( ) < > : ; . ° , - "
          <▷終
```

} キャラクタ選択
テーブル

} カメラID
桁移動

>00000000000000< } カメラID

- キャラクタの選択方法「キャラクタ選択テーブル」
アップスイッチ：カーソル(現在選択されて点滅しているキャラクタ)が右に移動します。
カーソルが右端にきたら同じ行の左端に戻ります。
ダウンスイッチ：カーソル(現在選択されて点滅しているキャラクタ)が下に移動します。
カーソルが下端にきたら同じ列の上端に戻ります。
モードスイッチ：現在点滅しているカメラID桁位置にキャラクタ選択テーブルで点滅しているキャラクタが設定され、カメラID桁位置が1文字右に移動します。
- カメラIDの桁移動方法「カメラID」
カーソルをアップ、ダウンスイッチで「カメラID桁移動」の位置に移動します。
アップスイッチを押すとカーソルが右に移動します。(下図参照)

"◀"→"▷"→"終"

"◀"の位置でモードスイッチを押すごとに「カメラID」のカーソルが1桁左に移動します。

0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0 ← 0

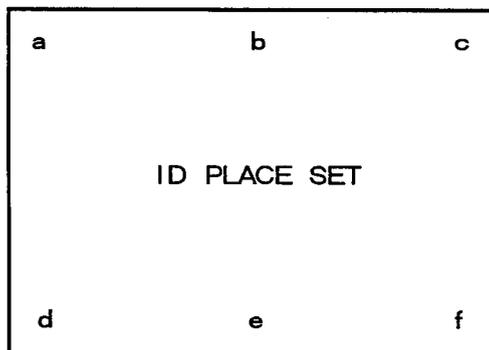
"▷"の位置でモードスイッチを押すごとに「カメラID」のカーソルが1桁右に移動します。

0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0 → 0

- カメラIDの終了方法「カメラID桁移動」
カーソルをアップ、ダウンスイッチで「カメラID桁移動」の"終"の位置に移動し、モードスイッチを押すことによりカメラIDの設定を終了し、次の設定画面に移ります。

カメラ ID 表示位置の設定

- CAMERA ID SET 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され、(a~f)の位置のいずれかにカメラ ID が表示されます。



- アップスイッチを押すたびに ID 表示位置は a→b→c→d→e→f→a の順で移動します。

電子増感倍率表示の選択 (C I T-743のみ)

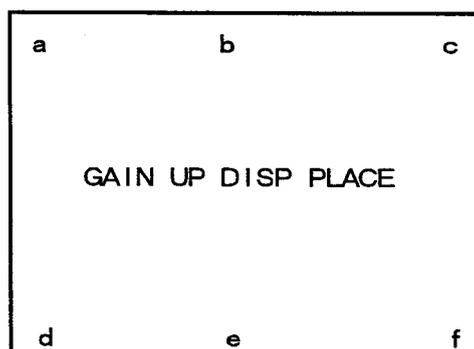
- 電子増感モードが選択されている場合は ID PLACE SET 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示され現在の設定モードが点滅します。

GAIN UP DISP
ON OFF

- 増感倍率を表示するか否かを選択できます。(ONで表示)
- 電子増感モードではない場合は増感倍率の表示設定はパスされます。
- 増感倍率表示が ON のとき、電子増感モード選択で AUTO を選択しているときは、[A] の表示、MANU を選択した場合は、[M] の表示に続いて増感倍率が [***] で表示されます。

電子増感倍率表示位置の設定 (CIT-743のみ)

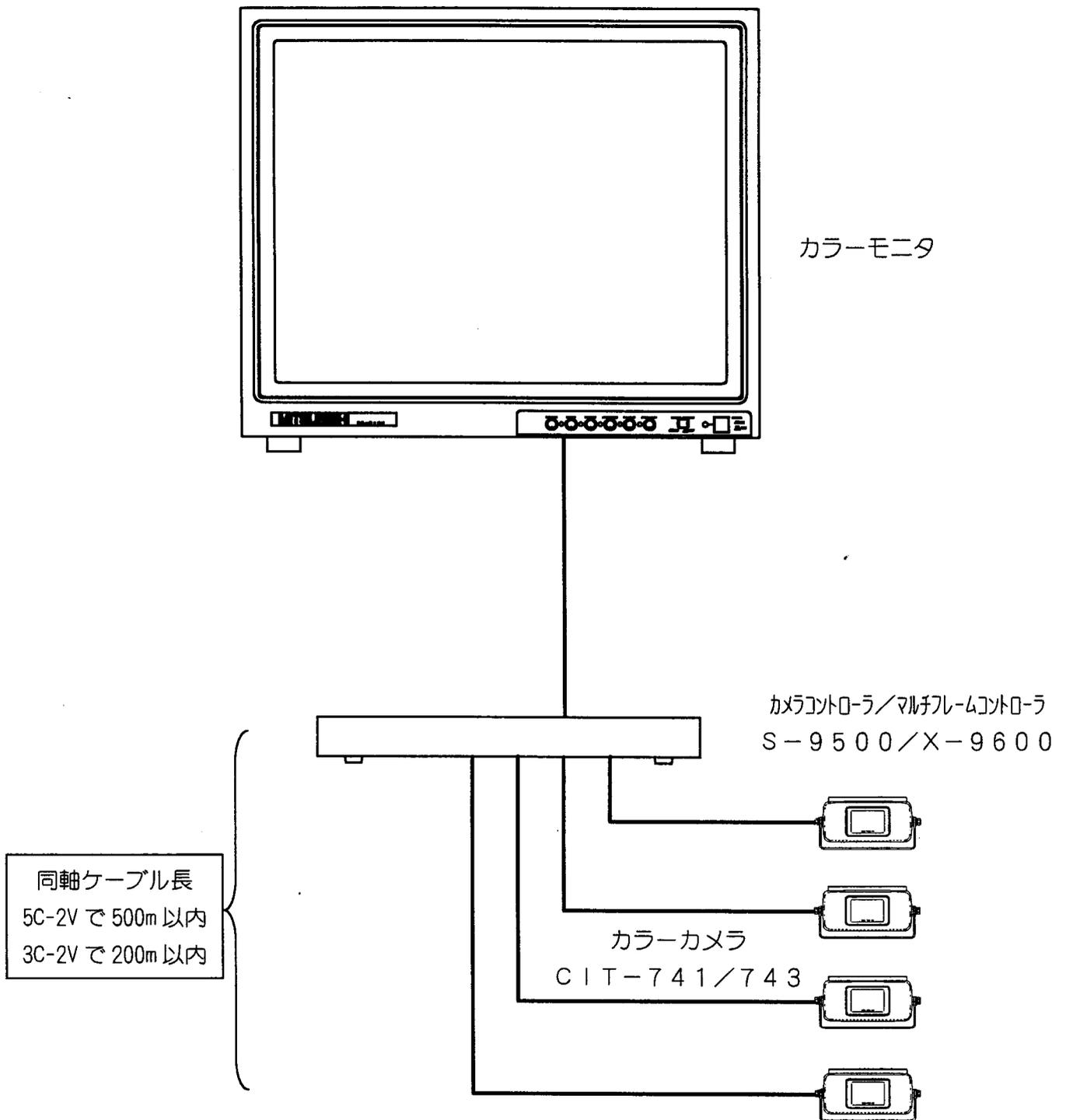
- GAIN UP DISP 画面でモードスイッチを押すと、下記の画面が表示されます。アップスイッチを押すたびに増感倍率表示位置が(a~f)の順で移動します。ただし、カメラ ID 表示と同じ位置には設定することができません。(カメラ ID 表示優先)
- またカメラ ID が画面両端の位置(a, c, d, f)に設定された場合、増感表示位置は中央(b, e)は選択できません。



[文字表示機能について]

- CIT-741/743 では12桁のカメラ ID 表示、電子増感倍率表示(CIT-743のみ)を行うことができます。カメラ ID 表示、電子増感表示については表示/非表示の選択が可能で、表示位置の選択も行えます。ただし、下記の注意が必要です。
- (1) 文字表示位置は6カ所(上部左[a]、上部中央[b]、上部右[c]、下部左[d]、下部中央[e]、下部右[f])から選択できます。
 - (2) 文字表示位置はカメラ ID 優先となっています。カメラ ID 表示位置には電子増感倍率表示は設定できません。またカメラ ID を画面両端部[a, c], [d, f]に設定した場合、増感表示はそれぞれ画面中央部[b], [e]は設定できません。

接続のしかた (例)



- カメラとカメラコントローラなど（コントローラ、マルチフレームコントローラなど）間には 5C-2V(3C-2V)で 500m(200m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、電源の供給、同軸ワイドラインを通じての制御等が行えなくなります。
- カメラとカメラコントローラなど（コントローラ、マルチフレームコントローラなど）間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。
- 車載用機器ではありませんのでご注意ください。

お手入れのしかた

- 電源を切ってからお手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤で拭いてください。

故障かな？と思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は電源を切ってからサービスをお申しつけください。

- ・各ユニットの電源プラグがはずれていませんか？
- ・同軸ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・モニタの電源スイッチはONになっていますか？

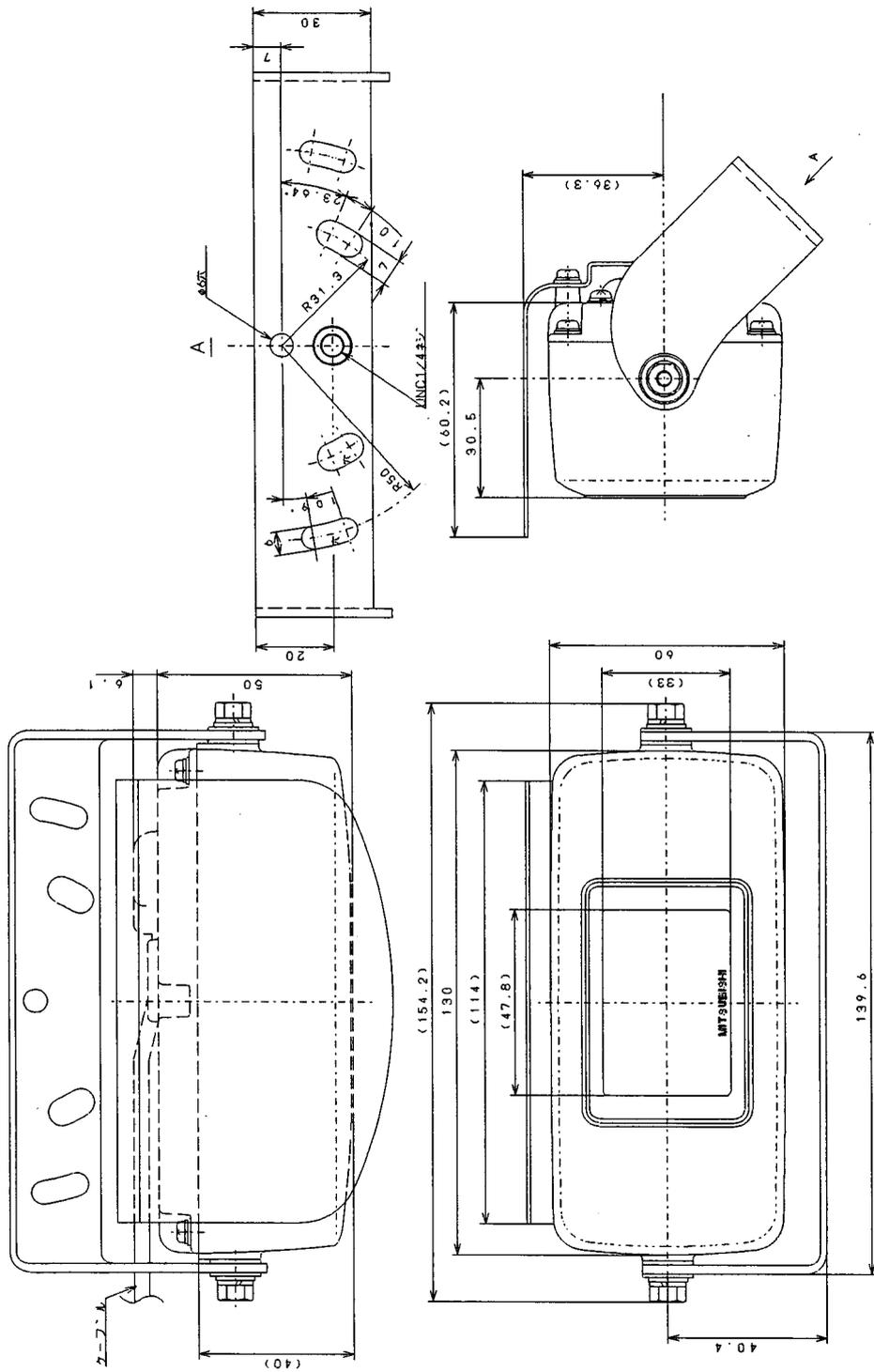
保証とアフターサービス

- 1 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- 2 無償修理規定
 - (1) 保証期間内（お買上げ日より1年間）に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
 - ③ 特殊環境（たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など）による故障及び損傷。
 - ④ 本書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 3 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は7年です。（性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。）詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

仕様

撮像素子	1/3インチ、インターライン転送方式CCD
有効画素数	768(H)×494(V)・・・約38万画素
光学系	1/3インチ
走査方式	2:1インターレース
走査周波数	水平:15.734kHz 垂直:59.94Hz
同期方式	内部同期/外部同期
映像出力	VP多重電源ユニット相当品より供給(MELOOK-Gフォーマット)
解像度	電源、制御信号多重1.0V(p-p)/75Ω(F形接栓メス) 標準時中心部で 水平:470本以上 垂直:350本以上 電子増感時中心部で 水平:460本以上 垂直:260本以上 但し電子増感はCIT-743のみ
S/N	48dB以上
電子シャッター	1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [秒]
電子増感(CIT-743のみ)	標準感度(1/60秒)の2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 24, 32倍 自動/手動切替 自動増感レベル設定 3段階(動き重視、標準、S/N重視)
最低被写体照度	<CIT-741> 標準時(1/60秒シャッター): 2lx (F1.85) <CIT-743> 標準時(1/60秒シャッター): 1lx (F1.85) 電子増感時: 0.03lx (32倍増感)
最大伝送距離	500m (VP多重電源ユニット相当品、5C-2V使用時)
使用温度、湿度	-15℃~+50℃、90%RH以下(但し、結露しないこと)
電源	VP多重電源ユニット相当品より供給
焦点距離	2.2mm
画角	水平:120°、垂直:92°
フリッカ補正	有り(1/100秒シャッター)
リモコン機能	VP多重電源ユニット相当品より各種機能設定可能
逆光補正機能	有り(エリア選択方式)
カメラID表示機能	カナ・英数字・記号12桁、6ヶ所の表示位置のうち1ヶ所
ホワイトバランス	自動/手動/ロック
デジタルノイズリダクション機能	ON(Auto/H/M/L)/OFF(電子増感時のみ)(CIT-743のみ)
構造	屋外形
耐水、耐塵性	JIS C 0920 IP65
質量	約630g
外形寸法	約130(W)×60(H)×56(D)[mm]
塗装色	マンセルN7(5分ツヤ)相当
付属品	取扱説明書/保証書・・・1 取付金具・・・一式 同軸コネクタ(3C-2V, 5C-2V)・・・各2

外形図



据付工事について（サービスマンの方のみ行って下さい）

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの
●据付工事は、販売店または専門の工事店が実施してください。 間違った工事は、故障や事故の原因になります。	
●据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。 当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。	

安全のために必ず守ること

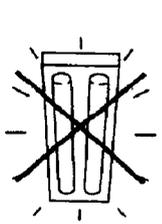
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明及び取扱説明書の「安全のために必ず守ること」をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。万一の感電防止のためお願いします。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	指示を守る
--	-------

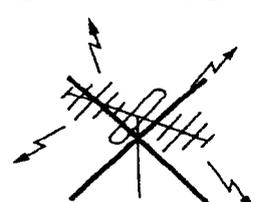
◎カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホンやモニタの近くにある場合、映像やインターホーンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。







◎テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄鋼電線管を設けて通電してください。2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。

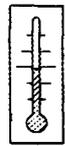




◎取付場所はカメラの重量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。



◎カメラを設置される周囲の温度は、 -15°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ 、湿度は90%以下（結露しない場所）でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。また、電源ユニットの使用電源は90V～110Vでお使いください。





据付場所の選定（サービスマンの方のみ行って下さい）

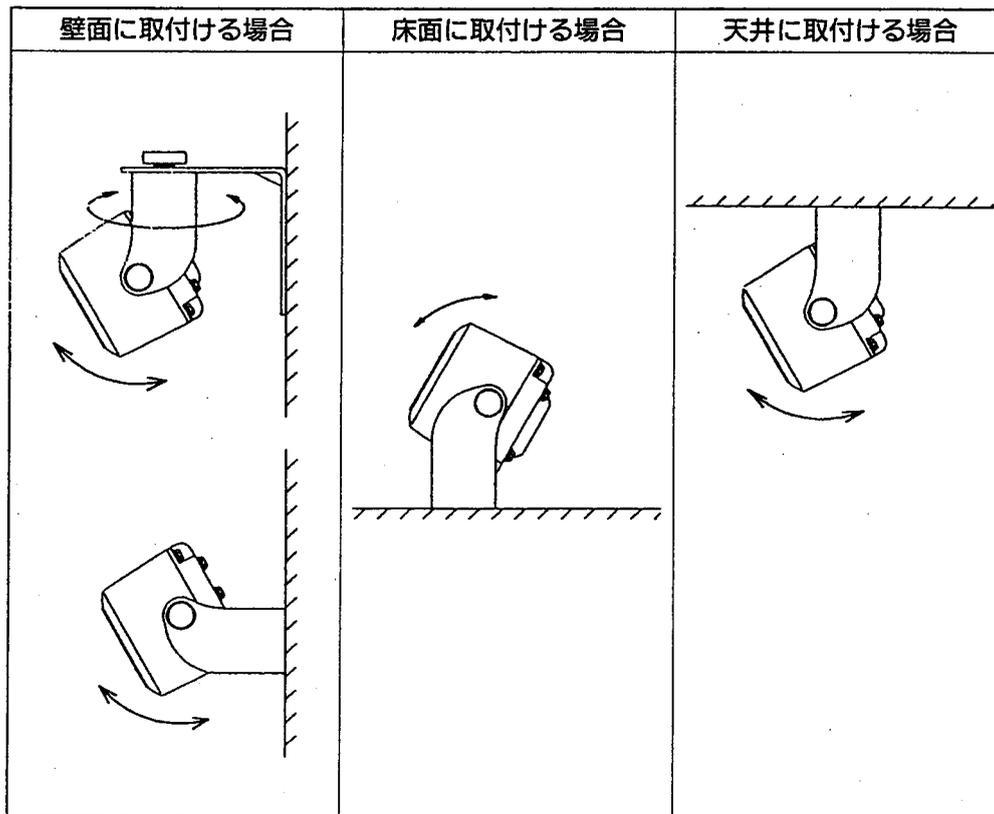
⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷
などに結びつく可能性があるもの

1. 指定温度範囲をこえる場所や、海水等塩水がかかる場所には設置しないでください。
2. 水平角度調整用ホルダーとの組合せ使用は耐振性が悪くなります。
振動、衝撃及び強風のかかる場所には設置しないでください。
3. 車載用機器ではありません。

お願い

1. 直接雨がかかる場所には設置しないでください。
前面ガラスに水滴が付着して見えにくくなる場合があります。
2. 湿度変化の激しい場所や湿度の高い場所には設置しないでください。
前面ガラスが曇り見えにくくなる場合があります。
3. 掃除しやすい場所に設置してください。
前面ガラスにゴミ等付着しますと見えにくくなります。
定期的に掃除をお願いします。

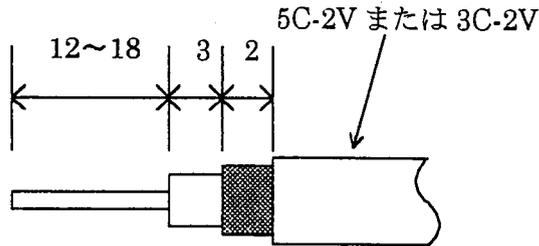
- カメラは付属の取付け金具（カメラ取付足、カメラ固定用ホルダ）で設置場所により下の絵のように取付が出来ます。



同軸ケーブルの接続方法（サービスマンの方のみ行って下さい）

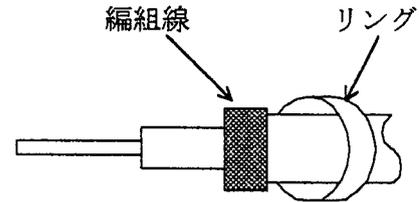
付属のF形コネクタを接続する同軸ケーブルに加工する必要があります。以下の手順に従って加工してください。

①ケーブルを下図のように加工します。



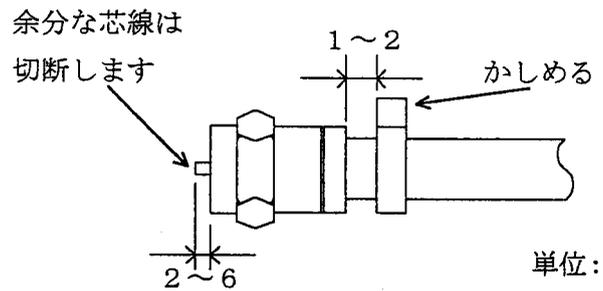
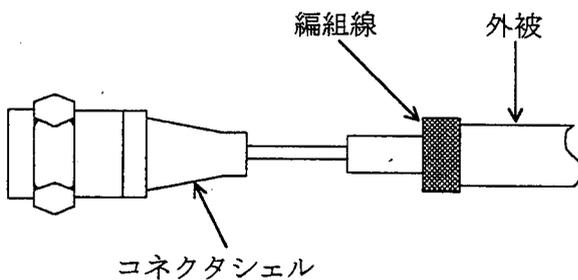
単位:mm

②リングをケーブルに通し、編組線を折り返します。



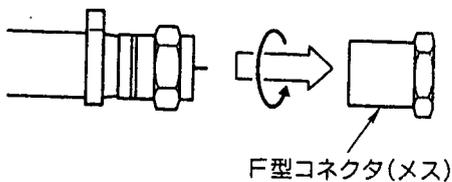
③ケーブルの外被（折り返した編組線）がコネクタシエルに当たるまで、コネクタシエルをケーブルの編組線の下にすべり込ませます。

④リングをコネクタシエル側にすべらせて、ペンチでかしめます。



単位:mm

⑤F形コネクタ（メス）の中心に内部導体がささるように差し込み、リングを回してしっかりと締めつけます。



F型コネクタ(メス)

お願い

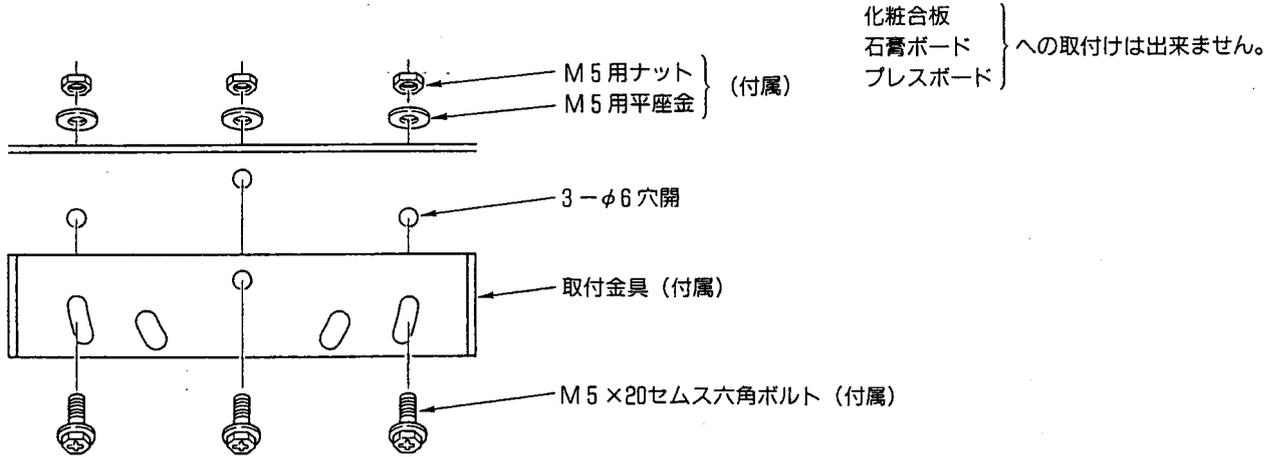


ケーブルの最大延長距離をお守りください
 カメラとV P多重電源ユニット間は 5C-2V[3C-2V]で最長 500m[200m]以内で接続してください。500m[200m]を超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワンプラインを通じての制御が行えなくなります。
 また、V P多重電源ユニットとマトリクススイッチャ間は 5C-2V[3C-2V]で最長 500m[200m]以内で接続してください。500m[200m]を超えて接続しますと、同軸ワンプラインを通じての制御が行えなくなります。
 カメラとマトリクススイッチャ間には、他の機器（V P多重電源ユニットは除く）を接続しないでください。通信ができなくなります。
 注) []内は 3C-2V 使用時の値です。

標準据付工事方法（サービスマンの方のみ行って下さい）

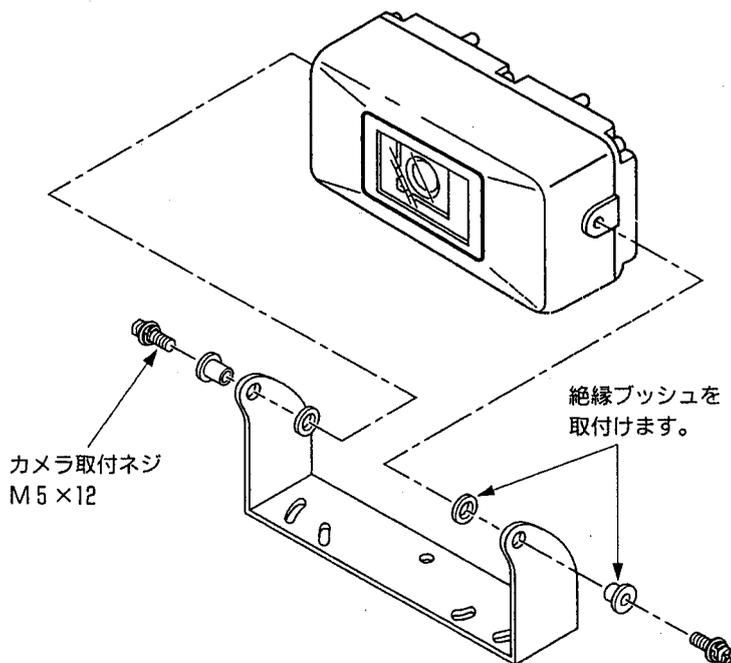
(1)取付金具の取付け **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

取付場所は強度的に問題無いか、確認の上、不足する場合は適切な補強を施してください。
穴開けは外形図の取付金具の寸法を参考に開けてください。



(2)カメラの取付け

絶縁ブッシュを取付け、カメラ取付ネジM5×12 2本でカメラ本体を仮固定します。



(3)カメラ固定ホルダの取付け

[工事の前に]

工事される時は、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行って下さい。

- 1 カメラ固定用ホルダを取付ける前に、本書の最終ページに取付け寸法 1 : 1 のゲージがはさみこんでありますので取付け穴及び、ケーブル通し穴の位置を決めてください。
- 2 カメラ固定用ホルダを設置面にネジ（4本）で確実に固定します。
- 3 カメラ本体に取付けた取付け金具をカメラ取付ネジで仮固定します。
- 4 ビデオモニタの画面を見ながら、上下左右の方向を適切な角度に決め、確実に左右角度調節ネジ及び、上下角度調整ネジにて締付けて下さい。

取付上の注意

●取付場所の材質によって取付け方がことなります。

(1)木材の場合

長さ25mm以上のタッピンネジで固定します。
板厚は20mm以上必要です。

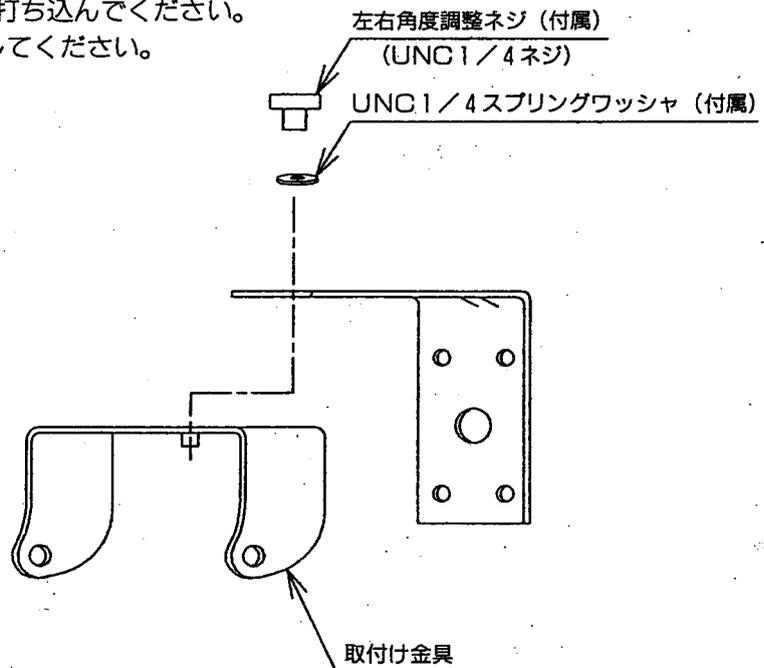
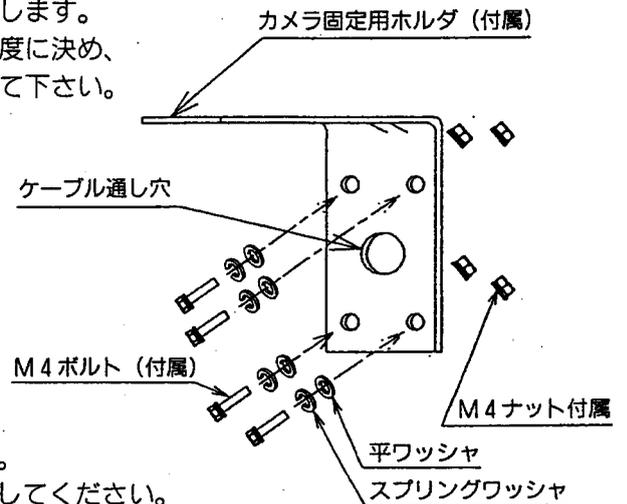
(2)鉄材の場合

①直にタップを立てる時はM4のネジを立ててください。
尚、板厚は5mm以上必要です。

②ボルト、ナットで固定するときはφ5の穴を開けてください。
付属のステンレスボルト、ステンレスナット（M4）で固定してください。
付属のボルトはステンレス製M4×20です。

(3)コンクリートの場合

コンクリート用アンカープラグ（M4）を打ち込んでください。
付属のステンレスボルト（M4）で固定してください。

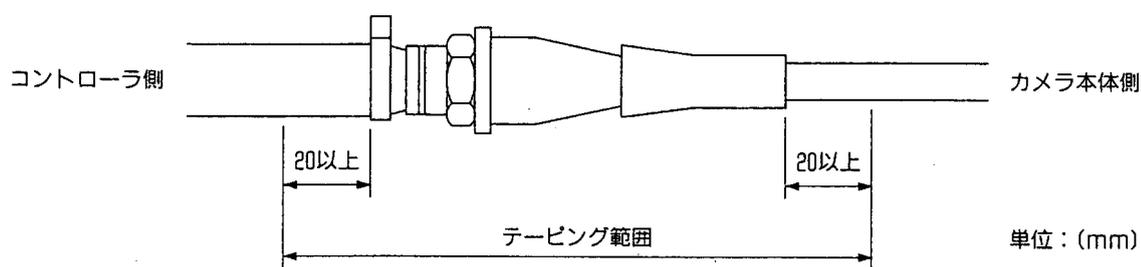


※カメラ本体と取付け金具との取付け要領は前ページを参照ください。

ケーブルの防水処理について（サービスマンの方のみ行って下さい）

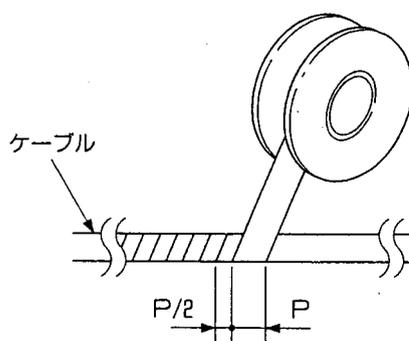
カメラ本体からのコネクタと、加工した同軸ケーブルの接続部は、雨水のかからない場所に引き込むのが基本です。止むを得ず雨水がかかる場所で接続する場合は、以下の要領で必ず防水処理を施して下さい。

1 コネクタ部を接続する。



2 テーピング範囲に自己融着（ブチルゴム）テープを、テープ巾の約半分を重ねながら2往復巻き上げる。さらにこの上からビニールテープを同様に1往復巻き上げる。

自己融着テープ（2往復） → ビニールテープ（1往復）



自己融着テープ推奨品 #11 0.5×19(BLK) 三菱電線製

標準据付工事後の確認（サービスマンの方のみ行って下さい）

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

● 安全性に係わる項目

No.	項目	判定
1	金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。	YES NO
2	他のものを上に置いていないか。	YES NO
3	指定の電源ユニットを使用しているか。	YES NO
4	ケースをはずしたり、改造したりしていないか。	YES NO
5	重いものを載せたり熱器具のそばに設置していないか。	YES NO
6	直射日光のあたる所に設置していないか。	YES NO
7	規格以上の衝撃、振動のある所に設置していないか。	YES NO
8	据付場所は、カメラの重量に十分耐えられるか。	YES NO
9	据付場所に合った据付ネジを使用しているか。	YES NO
10	取付金具はネジ3本、固定用ホルダはネジ4本で固定しているか。	YES NO
11	カメラの固定は十分か。	YES NO
12	カメラケーブルとF形コネクタのネジにゆるみはないか。	YES NO
13	コネクタの防水処理は十分か。	YES NO
14	ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。	YES NO

● 性能・機能に係わる項目

No.	項目	判定
1	使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。	YES NO
2	結露する場所で使用していないか。	YES NO
3	同軸ケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。	YES NO
4	カメラ～電源ユニット間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで 500m[200m]を超えていないか。	YES NO
5	電源ユニット～マトリクススイッチャ間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで 500m[200m]を超えていないか。	YES NO

注) []内は 3C-2Vケーブル使用時の値です。

試運転（サービスマンの方のみ行って下さい）

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 取扱説明書に基づき、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

カメラ固定用ホルダ (実物大)

